

授業科目名 (講義題目)	戦略的人的資源管理		開講学期 単位数	前期 2単位
担当教員	古川 久敬	講義コード	科目区分 対象学生	選択 1・2年生
		17176001		
開講予定日	① 4/10 ② 4/17 ③ 4/24 ④ 5/8 ⑤ 5/15 ⑥ 5/22 ⑦ 5/29 ⑧ 6/5 ⑨ 6/12 ⑩ 6/19 ⑪ 6/26 ⑫ 7/3 ⑬ 7/10 ⑭ 7/20 (木) ⑮ 7/24			
履修条件	なし	キーワード	選抜 育成 コンピテンシー モチベーション マネジメント	
全体の教育 目標	人的資源管理の理論を理解し、実践と 結びつけ、活用する	個別の学習 目標	根拠と論理をもって人的資源管 理を説明し、実践できること	

授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 経営ビジョンや経営戦略を具体化したビジネスモデルが、成果を上げうるかどうかは、組織内の人的資源とそれによって生み出される組織能力（個人力、チーム力）の質と水準により決まる。 2 今日、全ての組織で、あてにしていた前提が変わり、従来の発想や活動が通用しなくなっている。創造性と仕事イノベーションが必須となり、人的資源管理の重要性が一段と高まっている。 3 それは人の採用、育成、選抜の問題であり、日常的な個人とチームのマネジメントの問題である。 4 この授業では、組織環境の変化や経営戦略を視野に入れて、組織内外の「壁」と「溝」を越えて、創造性と活力を生み出すための人的資源マネジメント（HRM）について、(1) 基本的な理論を理解し、(2) それらを制度や企業事例と関連づけることで、(3) 根拠をもって実践に活かせるようにする。
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 主要概念や基本的理論については、講義により明確にする。 2 それらと関連する具体的事例をベースとして、企業組織等ではどのようなことが展開されているかについて、事前課題の紹介も含めて、ディスカッションや質疑を通して理解を深める。 3 受講に際して、毎回の事前課題（課題をよく把握し、自己の事例や意見を整理したもの）を作成し、出席すること。それを基に、授業で積極的に発言し、クラスの議論に貢献してほしい。
教科書および 参考図書	<p>教科書として下記を指定する。</p> <p>古川久敬（編著）『人的資源マネジメント―「意識化」による組織能力の向上』白桃書房（2010）</p> <p>参考図書としては下記などがある。毎回の授業の参考文献も参照。海外文献については、個別に質問してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 古川久敬『「壁」と「溝」を越えるコミュニケーション』ナカニシヤ出版（2015） 2 平野光俊『日本型人事管理』中央経済社（2006） 3 高橋 潔『人事評価の総合科学』白桃書房（2010） 4 慶應義塾大学BS編『人的資源マネジメント戦略』有斐閣（2004） 5 古川久敬『チームマネジメント』日本経済新聞社（2004） 5 古川久敬『組織心理学』培風館（2011）
試験・成績評 価の方法等	<ol style="list-style-type: none"> 1 事前課題への対応（毎回の授業に向けた事前課題の提出状況およびその内容） 20% 2 クラスへの貢献（授業における事前課題の紹介や、積極的な意見や考えの提示） 20% 3 最終レポート（人的資源管理にかかわるテーマについて論述する。受講者自身の状況を考慮して関心のあるテーマを設定し、授業で考えたことと関連づけて明快に記述する） 60%